

託児の手引

託児を利用される皆様へ



豊川市



はじめに



豊川市では、平成 23 年 3 月に「豊川市男女共同参画基本計画」を策定し、誰もが生き生きと暮らせる“自立と支え合いの男女共同参画社会”の実現を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。

この一事業として、市主催講座等における託児の実施があります。子育てのため家庭にこもりがちな保護者の社会参加を支援するとともに、子どもの社会性を広げ、保護者のリフレッシュをはかります。

この手引きは、子どもと保護者を対象に、市主催託児付き講座等における託児のすすめ方や託児に対する心構え等について解説しています。

子どもと保護者が安心して講座等を受けることができ、託児が円滑に実施されるためには、託児に対する保護者の理解と協力が大切となります。

ぜひ、この手引きを事前にご一読のうえ、講座等にご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

も く じ

- 1 託児の流れについて P3
- 2 持 ち 物 P4
- 3 注意事項 P4～P5
- 4 連絡カード P6
- 5 おわりに P7



1. 託児の流れについて



(1) 受付、留意点・連絡カードの提出・確認

- ① 受付にて、あらかじめ記入いただいた連絡カード（お子さんの健康状態等を把握するため、事前に送付させていただいてあります。P 6 参照）を託児ボランティアへ渡し、その日の子どもの状態・留意点等を笑顔で伝えてください。（お子さんは、お母さん・お父さんのやりとりの様子や表情を見て、託児ボランティアに打ち解けたり、警戒したりします。）
- ② 名前シールを受け取り、子どもの胸と背中、持ち物（オムツ等が入ったカバン）に貼ってください。
- ③ 名前シールを貼った持ち物と連絡カードを、託児室内の所定の場所へ置いてください。

(2) 託児を利用するにあたっての 心構え と お願い

- ① 毎回、講座等の開始時間の15分前に託児室へ来て、講座等開始5分前までは、子どもと一緒に遊んでください。
- ② 毎回、連絡カードへ必要事項を記入して、提出してください。
また、その日の体調等留意する点があれば、受付時に伝えてください。
- ③ 講座等開始時間になったら静かに、直ちに託児室から退室してください。
（ふんざりをつけてもらおうと、子どももいつまでも迷わなくなるので）
★「すぐ帰ってくる」等のごまかしは、言わないようにしてください。



(3) 講座等へ参加する

お子さんも頑張っています。お母さん（お父さん）も、充実した時間となるように、頑張ってください。



(4) 子どものお迎え

- ① 講座等が終了したら、質問や他の参加者とのお話などがあるかもしれませんが、まず子どもを迎えに来てください。
★大勢いる子どものお迎えの時間に差があると、お迎えに来るのが遅い子どもは、お母さん（お父さん）に見捨てられたような気持ちになり、大変不安な気持ちになってしまいます。
- ② 託児ボランティアから、その日の様子等を記入した連絡カードを受け取ってください。



2. 持ち物 ※すべてに記名をし、1つの袋にまとめてください。

●着替え上下一式

★トイレトレーニング中や汗が多いお子さんの場合は、余分に2・3枚ご用意ください

★脱ぎ着のしやすい服装をお願いします。

●替えのおむつ一式(必要な場合)

★使用済みのおむつは、お持ち帰りください。

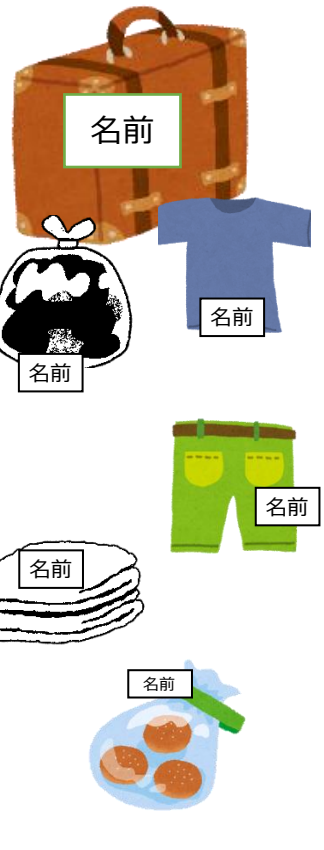
●ビニール袋(交換したおむつ、汚れたもの等を入れるため)

●タオル

●すいとう(中身は飲みなれているお茶や水など)

●昼寝をされるお子さんは・・・

肌かけ程度の物をご持参ください。



3. 注意事項

(1) お子さんの体調の悪い時には、無理をさせないでください。

⇒ 欠席の連絡は、市担当課(代表電話 0533-89-2111)

又は 会場となる施設まで。

※当日の朝でも結構ですので、必ず欠席の連絡をお願いします。



(2) 朝ごはんは、食べさせて来てください。

お子さんの健康状態により、決して無理をさせないようにしてください。



(3) 自分だけのおもちゃは持ってこないでください。

取り合いの原因になります。事情のある場合は、受付で託児ボランティアにご相談ください。



(4) 子どもの預け入れ 「あとでお迎えに来るからね」

毎回、時間には余裕をもってご参加ください。

遅くとも、講座等開始10分前には来るようにしてください。





どんなに小さい赤ちゃんでも

「お母さん(お父さん)は〇〇〇〇〇(お勉強、健診など)に行ってくるね。

終わったら迎えに来るからね。」と話することが大切です。

★黙って託児室に連れてきて、子どもがおもちゃの方へ行くと、そうっと出ていってしまうお母さん(お父さん)がいます。子どもはお母さん(お父さん)がいないことに気づくと「お母さん(お父さん)がいない」と泣き出し、なかなか泣きやみません。まるで捨てられたような気持ちなのでしょう。

1歳前後の子どもには理由を話しても「後で迎えに来ること」が理解できないのでなかなか泣きやまず、託児が難しい年齢でもあります。



初めて子どもを預けるお母さん(お父さん)は不安でいっぱいだと思います。

子どもが泣き出しても、あとでお迎えに来ることを子どもにきちんと伝え、託児ボランティアさんに笑顔で

「お願いします」と言って、講座等へ参加しましょう。

★お子さんが泣いてもしがみついても、困ったような表情はしないで下さい。子どもは、ますます不安になってしまいます。握手などをして、明るく離れてください。



(5) 子どものお迎え 「ただいま、よくがんばったね」と抱きしめてください。

- ① 泣いていた子はもちろん、泣いていなかった子もお母さん(お父さん)を待ち望んでいます。十分なスキンシップをとってください。
- ② 託児中の様子を連絡カードに記入してお返しします。頑張ったことは、大げさなくらいに褒めてください。しかし、泣いていた、友だちをたたいた等の内容については、決してしからないでください。
(行為についてはその場で託児ボランティアが対応し、話して聞かせます。叱られてしまうと、子どもはふんどりけったりです。)

(6) 緊急時の対応

- ① 急な発熱、万一の事故等には、講座等の途中でであってもお母さん(お父さん)をお呼びします。
- ② 託児中のお子さんの事故等に備え、市で傷害保険へ加入します。



保護者と託児室の連絡カード

(フリガナ)
お子さんのお名前

年齢

才 ヶ月

(呼び名)

- 1 食事（朝・昼）は食べましたか。 はい いいえ
- 2 排便は済ませましたか。 はい いいえ
- 3 おむつを使用していますか。 はい いいえ
- 4 ●託児時間内にふだん昼寝をしますか。 はい いいえ
 ●昼寝の好みのスタイルがありますか。〔 〕
 （おんぶ・だっこなど）
- 5 お気に入りのおもちゃは何ですか。（電車、ままごと、ブロック、絵本など）
 〔 〕
- 6 その他、変わったこと、留意してほしいことはありませんか。
 〔 〕

託児室からー





お わ り に



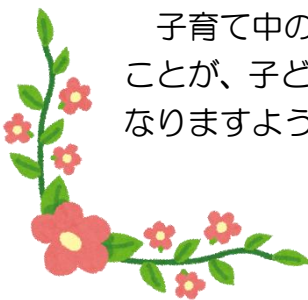
☆ 子どもはみんなの宝物 ☆

現代は、赤ちゃんからテレビやDVDを見ています。おかしや夜更かしも当たり前になっています。どんなにいい子であっても、イライラ・キーキーと情緒の不安定な子どもになるような環境の中で、お父さんお母さん達は子育てをしています。現在の子育ては、昔と違って子どもを悪くするものがあまりにも多く、子育ては大変難しいのです。

そこで、地域で暮らすわたしたちみんなで、未来の宝物を育てていくことが求められています。ひとりの親、ひとりの子どもが幸せになることは、平和な社会へのすばらしい一歩です。

子どもたちを笑顔で見守る託児ボランティアの愛情は、確実に子どもの喜びにあふれた今をつくっていきます。こうしたみなさんの温かい協力により、お母さん自身も子どもの笑顔や純真さにより、ますます生き生きと輝くことでしょう。

子育ては、明るい未来をになう子どもを育てる重要なものです。子育て中の家庭のみなさんが気軽に社会参加できるよう、今後も、保護者と託児ボランティア等が意思疎通を図り、連携していくことが大切です。



子育て中の家庭であるという理由にとらわれず、気軽に社会参加できることが、子どもと保護者のみなさんにとって、喜びあふれる幸福な時間となりますように心からお祈りいたします。

